標本棚 私と旅

海外旅行の怖い一面

㈱小田急トラベルサービス
清水　康成

数年前、添乗でヨーロッパへ行った時の出来事。ローマでの自由行動時、参加者がそれぞれ（バラバラ）の目的地へ出掛けたので、一人で町を散策していたところ、初めてジプシーに囲まれるといった事態に遭遇した。

子供が二人に大人が二人で鞄をつかみ、上半身にしがみつき、何か物を盗るか、餞別を出させるかを狙っているようだった。

振り払って事なきを得たが、常日頃、お客様に「日本より治安の良いところはないので充分気を付けるように」と注意している手前、今回の体験は今後の注意喚起の際には、今まで以上に説得力が出るなと、ほくそ笑みながら集合時間まで散策を続けていた。

すると、町中で四名の参加者に出会った。地下鉄でスリに遭遇し、必死の思いでその場を脱出してきたとの話。何も盗られなかったことを確認し、ホッとひと安心。海外旅行の経験が豊富なお客様であったが、今回のような事態に遭遇したのは初めてとのことで、旅行会社の係員が口を酸っぱくして注意してくれていたことが、今になってわかったと反省の弁しきりだった。

旅行会社としては、常に「治安が悪い、治安が悪い」と注意を喚起しているのだが、馬の耳に念仏というか、実際にはお客様には、意識として伝わっていなかったのかも知れないと改めて実感した次第。

実際そういった事態に遭遇しないと、なかなか注意されてもピンとこないかも知れない。改めて、今後、海外旅行をされる方々に『自己防衛の大切さ』と『油断大敵』の言葉を贈ります。

マニラ空港強盗事件

東京医科歯科大学医学部教授
藤田紘一郎

ニューギニアからの飛行機は、マニラ国際空港に予定より一時間も早く着いた。僕は大学院生と二人で空港のロビーの真ん中で、友だちの細井さんが迎えにくるのを待っていた。

ところが、ロビーの遠くから「長崎大のフジタさ～ん」と呼んでいる。僕たちはフィリピンの人たちと接しないように、ロビーの真ん中で待っていたのに、遠くでフィリピンの人が僕の名前を呼んでいるのだ。

僕が彼のところに行くと、日本人のボスが交通事故を起こしたから迎えに来られない。この車に乗れと言うのだ。僕たちは疑いもなく、彼の後について行った。ところが不思議なことに、彼の車は空港の出発口においてあったのだ。

僕たちは少し変だなと思ったが、その車に乗った。空港から車が出たところで、三人のフィリピンの若者がいきなり車に乗り込んできた。全員「強盗」だったのだ。僕たちの両脇にはピストルらしきものが、ぴたりと当てられている。

僕たちはニューギニアへの調査旅行の帰りで、あまりお金は持っていなかった。最初は千ドル要求されたが、僕たちは「友だちだろう」という言葉をくり返して、とうとう二百ドルまでまけさせたのだった。税関の職員が僕の名前を彼らに教えていたことが後でわかった。

羽音

私と個展

㈱栗原工芸
栗原　宏文

学生時代から写真に興味を持ち、写真部で修学旅行の写真を一週間で名刺判千枚焼いた事があった。

二十代では、自動車レースが盛んになり、オイルの臭い、エンジンの爆音に魅せられてよく通ったが、スピードに慣れるのに大変苦労した。そのお陰で動く物を捕える事は今でも身に付いている。

その後、カメラ好きの友人との交流で写真クラブに入会し、初会合の日、意気揚々と作品を見てもらうと、長老よりよくないと言われ、努力した結果、数カ月後、一枚ほめられた。

どうしてもクリア出来ない事があり、カメラを全部買い変えたこともあった。その後、コンタックスクラブに入会、モデル撮影会、秋山ツアー（秋山先生とバス旅行）に参加。秋の五色沼、新緑の山形、冬の米沢等に出掛け、先生と共に百戦練磨の長老方と、風景をどう撮るか、早朝から撮影をして少しでも良い写真が出来るよう努力した。

そのツアーは後日、銀座サロンにてアンデパンダン展に出品出来るので大変人気があった。

今回の個展の話は昨年秋にあり、展示に際してコンパクトカメラ（T－2ゾナー38ミリ、f2・8）とモノクロームでの作品展と思い、いざプリント作業に入って見ると、全紙の焼付は大変で、一週間の日時を費やしたが、額装して展示してみると思いのほか良いプリントが出来たことに満足している。

しかし、美術の世界では終わりがないので、これで良いとは思わず、今後も感性を磨き、より良い作品を作って行きたい思っている。

クマムシと私

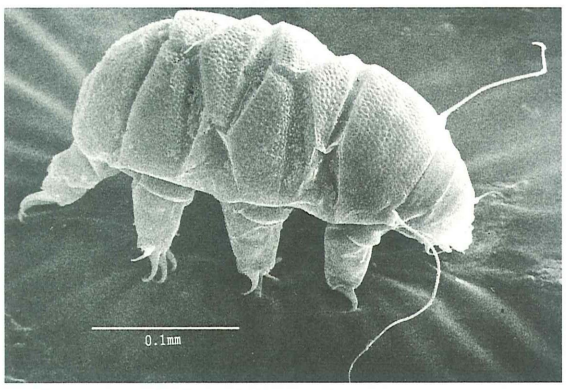
元東京女子医科大学教授
宇津木和夫

クマムシという名前は、ゆっくり歩く姿がクマのように見えるので、約二百年前に付けられた。動物学上は、緩歩動物（Tardigrada＝ノロマモノの意）で一門をなしている。英語でもWaterbearと呼ばれる。

私とクマムシの出会いは約十五年前、学生実習の材料である微小生物を顕微鏡で探している時であった。

これは、その日の目的物ではなかったが、後に面白いクマムシの特徴を知り、研究を始めた。

文献によると、アルプスの山中から水深四千六百九十mの海中まで、また南極大陸から北極付近のグリーンランドにいたる世界中に広く分布しており、現在六百余種が報告されている（日本では六十余種）。



クマムシは、体長が〇・二～〇・五㎜なので、顕微鏡でなければ見えないが、体型は円筒状で八本の脚があり、その先には爪がある。脚を持つという点ではミミズのような環形動物より進化したものといえるが、その脚には関節がないので、クモやダニのような節足動物とも異なる。おそらく自分の足で歩く最初の動物ではないかと考えている。

陸上のクマムシは、湿潤な環境では小さい植物の上を歩き回るか、土の中に生活している。環境の湿度が低下してくると、体の水分を徐々に出して樽型になる。

この状態で何年間も生き延びることができる（現在までの最長記録は百二十年）ので、潜在生命または乾眠とも呼ばれる。さらに、樽型になると高温や低温にも強いし、放射線や真空に対しても強い抵抗性を示す。

小さい動物ではあるが、形態が物語る進化の面白さとともに、苛酷な環境でも生き延びる強い生命力に大きな魅力がある。

会員図鑑

●石本　文子
アペックス産業㈱
プリンス事業部

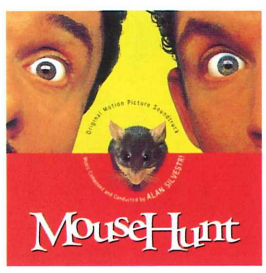
【科属】ホソウデ科チョウジン属
【形態】昭和十一年生まれ。群馬県出身。小柄で細腕だが、十八年間無遅刻無欠勤。ホテル清掃業務の陣頭指揮を執る。自ら三人分の仕事をこなすだけでなく、後輩を一人前に育てるうまさも抜群。
【習性】仕事での歩行は一日三万歩。卓越した不屈の精神で、とことんやり抜く根性は「人間技ではない」と畏敬の念で見られている。いつ体を休めているのかが七不思議の一つ。

●川島　猛
アペックス産業㈱
プリンス事業部

【科属】トカイ科イショク属
【形態】昭和二十八年生まれ、東京都出身。A型。勤続八年。早朝六時からのホテルの清掃業務をこなす中心的存在。普段は物静かな親子三代新宿生まれの都会派。
【習性】スナック経営の経験を持つ異色の経歴の持ち主。それだけに酒には一家言を持つ。飲むと陽気になり、カラオケの持ち歌は数知らず、マイク大好き派。ボウリングの腕もプロ級。かつてチームを組んでいた。

触角 CD

マウスハント



UIP映画配給
オリジナル・サウンドトラック
音楽：アラン・シルベストリ
二、一六〇円

映画『マウスハント』は、ネズミと二人の凸凹コンビが繰り広げる傑作コメディー。ネズミの演技力？（よく調教した）は必見ものだが、今春四月に発売されたCD『マウスハント』もお勧めの一品。この種の映画音楽にかけては第一人者のシルベストリのキャリアの中で頂点を極める作品の一つになると評価されている。全編十七曲。古典的な仕上がりがなじみやすく映画抜きでも十分に楽しめる。

むしくいず

虫へんの字には、２つ以上「虫」を持つ字が数多くあります。

【例】蠢＝シュン、うごめ（く）、おろ（か）。
　　蠡＝レイ、むしば（む）、きくいむし。
　　蠱＝コ、まど（わす）、むし。
　　蠶＝サン、かいこ

では【問題】です。

蠹

は「ト・そこ（なう）」の他に、なんと読むでしょう。

【ヒント】壁や古書をじっと見ているとわかりますよ。

◆応募規定　ハガキまたはファクシミリで、答、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。
〒105-0014　東京都港区芝２の23の４
アペックス産業㈱内　APEX CLUB宛
ファクシミリ番号　０３－３４５５－６５５８
締切りは平成10年８月31日（当日消印有効）
正解の中から抽選で３名様に素敵な記念品を差し上げます。

★前号の正解と当選者（順不同）
正解は『地球環境』でした。
当選は、板倉英一様、西尾洋様、安田祥子様。